



- ①長野県退職教職員互助組合の説明動画をご覧ください  
ありがとうございます。  
この動画の詳しい内容は、「新たな出発に向けて」に掲載されておりますので、あわせてご活用ください。



①これから長野県退職教職員互助組合、略称「退教互」の事業概要について説明します。

## 退教互の事業①

1 退教互とは

2 退職後の医療制度

3 給付実績



①ここでは、「退教互とは」、「退職後の医療制度」、「給付実績」について説明します。

**1.長野県退教互とは**

2020(令和2)年度 退職予定の皆様へ

新たな出発に向けて

**退職後の医療費補助をおこなう、  
長野県の教育関係職員だけの互助組合**

1965年の発足から今年で  
56年目を迎えました

退職教職員互助組合

- ①長野県退教互とは、退職後の医療費補助をおこなう、長野県の教育関係職員だけの互助組合です。
- ②1965年に発足し、今年で56年目を迎えました。

## 2.退職後の医療制度と退教互

現職中は、公立学校共済組合と現職互助組合の手厚い医療費補助

1 医療機関ごと1か月の自己負担上限額 4,000円

退職後は、この補助が無くなります

**そこで退教互の出番です**

窓口負担分

医療費負担のモデル図

現職中	退教互に	
	加入	未加入
共済組合 7割	公的医療 保険 7割	公的医療 保険 7割
共済組合の 附加給付 互助組合の 給付 自己負担	退教互の 給付 自己負担	自己負担 3割

- ①退職後の医療制度と退教互の役割を説明します。
- ②長野県の教職員のみなさんは、現職中は公立学校共済組合と現職互助組合から、大変手厚い医療費補助があります。そのため、1医療機関ごと1か月の自己負担額が4,000円を超えることはありません。
- ③しかし、退職後はこの補助が無くなってしまいます。
- ④そこで退職後の医療費補助をする互助組織として生まれたのが長野県退教互です。

### 3.医療費の補助 = 療養給付実績

#### 2019(令和1)年度の実績①

給付者数  
(給付率)

9,300人  
(52%)

給付総額

3億1,100万円



- ①医療費補助を療養給付といますが、2019年度の給付がどれくらいだったか実績をみてみましょう。
- ②退教互から医療費補助を受けた方は9,300人にのぼりません。これは、給付対象者の皆さんの52%にあたります。
- ③組合員の皆さんに一年間に給付させていただいた総額は3億1,100万円になりました。

### 3.療養給付実績

#### 2019(令和1)年度の実績②

	給付対象者1名あたり
退職組合員	<b>20,500円</b>
配偶者	<b>14,900円</b>
1世帯あたり	<b>27,600円</b>



①もう少しくわしく見てみましょう。

退職組合員本人では平均すると一人当たり 20,500円 を給付させていただきました。

配偶者の方は平均すると一人当たり 14,900円 を給付させていただきましたこととなります。

1世帯平均にすると 27,600円の給付額となります。

以上のように、医療費補助により退職組合員様のお役にたつことができました。

ご視聴ありがとうございました

